

平成 21 年 度 自 己 評 価 表

鳥取県立日野高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	社会の中でたくましく生きるための学力や豊かな人間性を育み、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を図る。
---------------------------	---

今年度の重点目標	(1) 【基礎学力の充実】分かりやすい授業を工夫し学力の向上を図る。 (2) 【基本的な生活習慣の確立を促し規範意識の高揚を図る】ルール・マナーを身につけさせる。 (3) 【進路指導の充実】コミュニケーション能力の育成。 (4) 【光り輝く学校づくり】地域との連携を図る。
-----------------	---

年 度 当 初					評 価 結 果 ()月最終		
評価項目	現 状	具体的項目	具体目標	具体方策	経過・達成状況	評価	改善方策
分かりやすい授業を工夫し学力の向上を図る。 【基礎学力の充実】	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組み意欲が不十分な生徒もみられる。 ・授業に真面目に取り組んでも学んだことが定着しない生徒がいる。 ・一般常識小テストは一定の成果があったが、取組意欲の低い学年もある。 	・ 授業の充実。	・ 授業に積極的に取り組む生徒の増加。	・ 生徒による授業評価や教員相互の授業参観を促進し授業改善を図る。			
		・ 個々の生徒に応じた、きめ細やかな学習指導。	・ 学力向上を実感できる生徒の増加。	・ テストや授業だけでは、生徒個々の実態把握が不十分であるので、教科担当と学級担任等の連携を深める。			
		・ 一般常識小テストの充実。	・ 一般常識小テストに意欲的に取り組む生徒の増加。	・ 一般常識テストの出題を適切な難易度とし、また、反復することで理解度を高める。			
ルール・マナーを身につけさせる。 【基本的な生活習慣の確立を促し規範意識の高揚を図る】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遅刻、早退、欠席の多い生徒もいる。 ・ 頭髪・服装などのルールやマナーを守れない生徒もいる。 	・ 遅刻、早退、欠席の減少。	・ 遅刻、早退、欠席を昨年度より減少させる。	・ 保護者と連携をとり協力して遅刻、早退、欠席の減少に努める。 ・ 街頭・駅舎・生徒昇降口前の指導回数を増やし指導の徹底を図る。			
		・ ルール、マナーの指導。	・ 制服を正しく着用する生徒の増加。 ・ 何度も指導を受ける生徒の減少。	・ 改善指導カードを導入して指導を徹底する。 ・ 指導の項目や基準を具体的に生徒に示して指導する。			

評価項目	現 状	具体的項目	具体目標	具体方策	経過・達成状況	評価	改善方策
コミュニケーション能力の育成。 【進路指導の充実】	<ul style="list-style-type: none"> 進路決定や進路実現への取り組みが遅い生徒がいる。 自己表現力、コミュニケーション能力が不十分なため進路実現が困難な場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期の進路目標設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が2年次末までに希望進路を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路情報の提供を充実させて生徒の進路意識の高揚を図る。 家庭との連携を密にして生徒が進路について考える機会を増やす。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自己表現力、コミュニケーション能力の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 面接、作文等で自己表現できる生徒を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「就職セミナー」や面接指導を充実させる。 教科学習や総合学習などでの発表をとおして自己表現力を向上させる。 			
地域との連携を図る。 【光り輝く学校づくり】	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した様々な交流活動を実施しているが、本校の良さがまだ十分に地域の人々に理解されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動を地域へアピールする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動の内容を地域で理解してもらい、本校の信頼性をさらに高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の交流事業の点検、見直しを行い、より効果的なものにする。 ホームページの充実に努めるなど情報発信の方法を工夫して、日野高校をアピールする 発表会等の様々な事業の広報を積極的に行う。 			

評価基準 A：十分達成 B：概ね達成 C：変化の兆し D：まだ不十分 E：方策の見直し